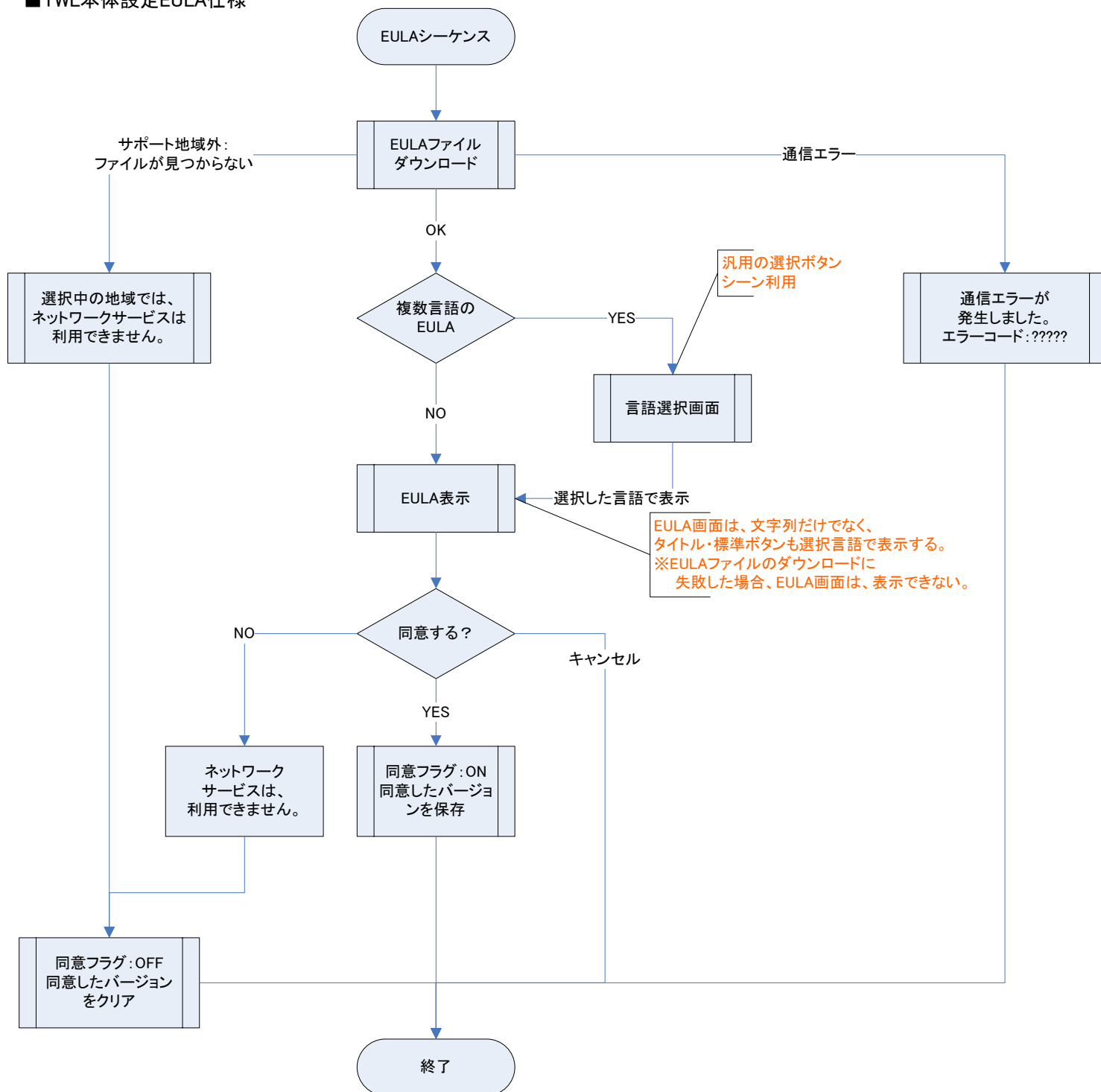


■TWL本体設定EULA仕様



※注意事項

- ・現在同意しているEULAのバージョンや、同意しているかどうかなどはシーケンス内では判定せず、利用規約を選んだ時点で、EULA文面が確認でき、毎回「同意する」・「同意しない」・「キャンセル」を選べる仕様となります。
- ・EULAは、本体設定で選択された**国毎**に独立した文書にします。
- ・本体設定でのEULA画面では、**一つの国に対し、四言語**までサポートします。
- ・EULA文面表示に使えるのは、**本体内蔵フォントでの文字のみ**となります。
文字サイズは固定となり、文字への色や下線は入れられません。
- ・EULA文面表示時には、EULA文面だけでなく、「タイトル」「同意するボタン」「同意しないボタン」「キャンセルボタン」がダウンロードするファイルから取得できるようになっています。
例えば、「同意するボタン」は、**本体設定でサポートされない言語で表示**することができます。**※フォントは必要です。**
- ・EULAのバージョンは、ユーザが国が変更されるケースも考慮に入れると、少なくとも同一リージョンの国に対し、同時にバージョンをあげる必要があります。

■EULAファイル仕様

■EULA Header構造体仕様 + EULAファイル構造

+00H	+01H	+02H	+03H	+04H				+08H							+0FH
ヘッダ “EULA”				ブロックサイズ				ファイルサイズ				EULA バージョ ン	言語数 (最大4)	ファイル バージョ ン	
0番目のEULA構造体(可変サイズ)															
1番目のEULA構造体(可変サイズ)															
2番目のEULA構造体(可変サイズ)															
3番目のEULA構造体(可変サイズ)															

■EULA構造体 仕様

+00H	+01H	+02H	+03H	+04H				+08H							+0FH
ヘッダ “ETXT”				ブロックサイズ				テキストまでのオフセット							
言語選択肢の文字列(最大32文字)															
タイトル文字列(最大32文字)															
「同意する」文字列(最大32文字)															
「同意しない」文字列(最大32文字)															
「キャンセル」文字列(最大32文字)															
EULA文面(最大32 * 1024文字、約320ページ分)															

のちの更新で、ヘッダ構造体
の情報が増えても対応できる
ように、テキストまでのオフセッ
トを入れる。

■EULAファイル 仕様

仕様から、EULAファイルは、各国毎に一つのファイルとなる。ファイル名の命名規則は、以下の通り。

- インターネットからのダウンロードに使う際のファイル名は、以下のようにする。

[TOP_URL_STRING]/[COUNTRY_CODE].bin

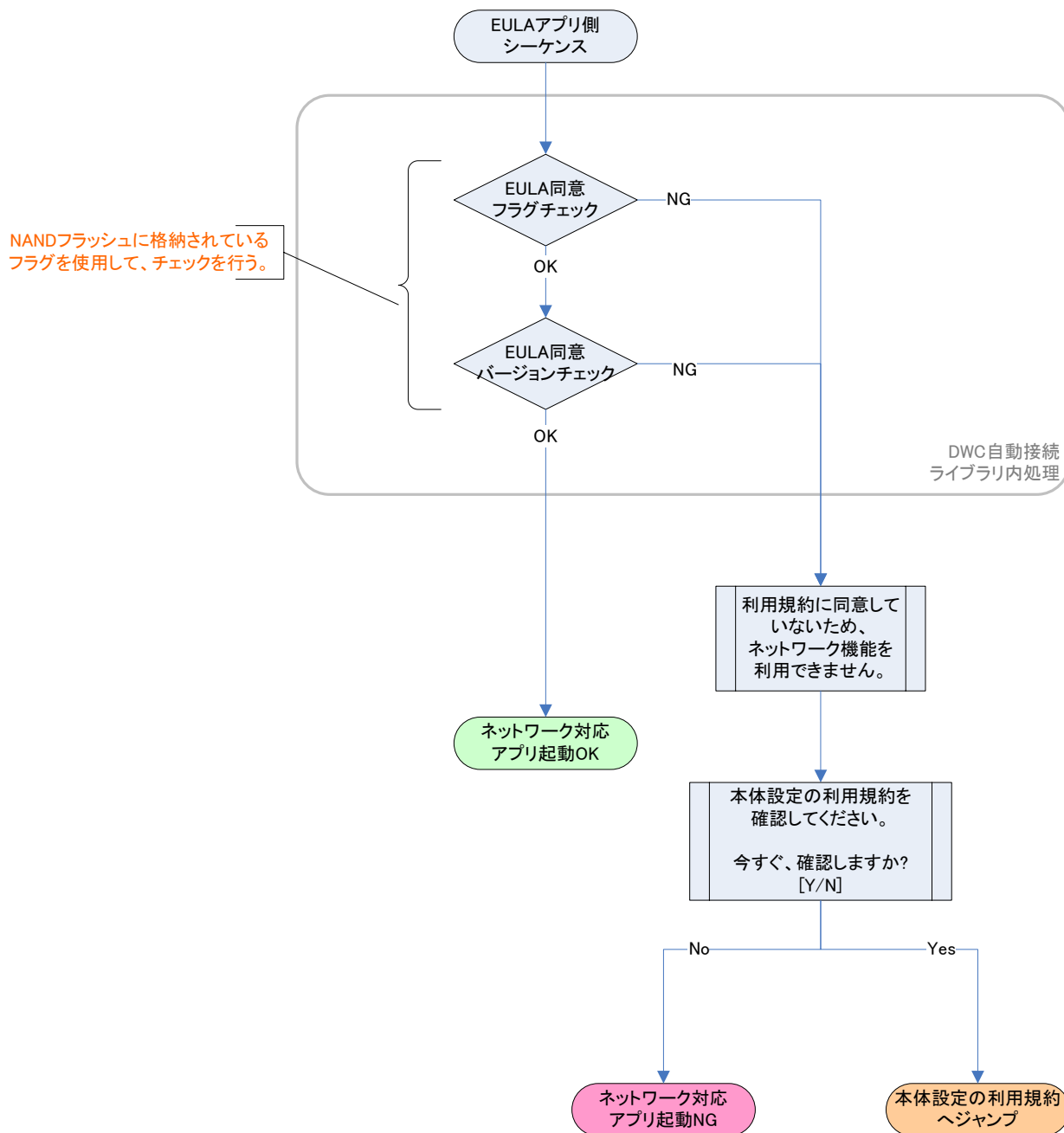
TOP_URL_STRING: <http://hogehoge.nintendowifi.net/twl/eula> のようなもの。ネットワーク開発部で規定

COUNTRY_CODE : 000~254までの数字を%03dで。

- URL取得方法のイメージ

OS_TPrintf(buf, “<http://hogehoge.nintendowifi.net/twl/eula/%03d.bin>”, LCFG_TSD_GetCountry());

■アプリ側EULA仕様



※このシーケンスは、本体設定で使用するDWCライブラリには、適用されません。

TWLの本体設定では、ネットワークの接続テストや、EULAのダウンロードなど、EULAの同意を必須とすると矛盾する仕様があるため、同意しているかどうかに関わらず、接続できる仕様となります。